

ゴム事業子会社 2 社取締役選任のお知らせ

昭和ホールディングス株式会社
取締役代表執行役最高経営責任者 此下 竜矢

取締役選任

平成 23 年 11 月 14 日に開催されました当社子会社昭和ゴム株式会社、並びに昭和ゴム技術開発株式会社の臨時株主総会において、2 名の新しい取締役を選任いたしました。既に昭和ゴム株式会社においては 10 月に取締役 1 名が選任されておりますので合わせてお知らせいたします。

目的

- ① 長年業績不振を続けるゴム事業の早期黒字化を達成すること
- ② 不振の最大の原因である、大企業病ともいえる社内文化の変革を強く推し進めること
- ③ 新取締役を中心に社内の全体最適、ボトルネック活用への取り組みに集中すること
- ④ 分社化などによって育成された人材を活用し、喫緊の課題である世代交代を行うこと

記

当該 2 社は当社の創業事業であるゴム事業を営んでおりますが、すでに 30 年にわたって業績不振が続いており、株主価値の毀損が続いております。既に平成 21 年 10 月に当社を新設分割し、ゴム事業を担う上記 2 社ならびに、スポーツ事業を営む 1 社を独立させ、また、以前からのスポーツ用品販売子会社を含めて子会社 4 社を並列にし、小回りの利く単位での経営を推し進めてまいりました。

この間の 2 年間に各子会社の中に新しい人材が急速に育成されており、以前からの課題でありました、経営の世代交代、新しい発想での提案型企業への生まれ変わりを推し進める機運が高まってまいりました。また、この間に小単位でのマネージメントを経験した人材が育ち、さらに大きな単位でのマネージメントを行う素地ができたかと判断しております。

そこで、この度、ゴム事業を担う 2 社の合併を決定しており（平成 23 年 10 月 11 日「連結子会社同士の吸収合併に関するお知らせ」）、今後経営を刷新し、ゴム事業の早期黒字化を目指すものです。特に、現在当社グループの従来事業においては、40 歳前後の若い有為な人物の積極登用によって従来にないスピードでの改革を目指しておりますが、その一環として実行するものです。

新任取締役 3 名

池上福司 取締役製造担当（41）現製造部長
小池千尋 取締役技術開発担当（39）現生産技術副部長
宗宮保 取締役営業担当（37）現昭和ホールディングスグループ統括室、11 月より現任

またアジアでのゴム事業を担う SHOWA RUBBER MALAYSIA におきましては、本年 8 月より以下二名が就任しております。

中村雄二 取締役製造担当（41）
山西美香 取締役総務経理担当（37）

これらの一連の人事に伴い、ゴム事業経営の中核に 40 歳前後の若い活力を取り込み、当社の既に古くなった文化を改革し、事業に活力を吹き込んでまいり所存です。既に発表しております、中期経営計画では「提案型」「アジア市場」を展開の軸としておりますが、この度の人事による若い世代の活用は、この 2 軸を果すために必要不可欠な施策であると考えております。

何卒、皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

SR・ST合併に伴う経営陣の刷新

